



1,2,3.パドックには和気あいあいとした雰囲気が漂っています。大切なのはチームワーク。お湯を沸かしてコーヒを淹れ、のんびりと楽しめます。自分の番が近づくと一変、その目は真剣そのものになります。4.右端、子育てのため休戦中の馬場リサさん。通称「ママさんバレーの鬼」前田浩さんは仕事のため取材に訪れた日は欠席でした。「全員、孫がいる『還暦チーム』で頑張っています!!」5.「ノーマルダート4時間耐久レース」で獲得したトロフィーの数々。2013年シーズンのシリーズランキングは2位。2014年はチャンピオンを目指しています。6.今年の「お年玉ダートトライアル」では渡辺さんがクラス優勝。渡辺さんがクラス2位、中西紳一さんが3位になりました



ダートトライアル

頭集
巻特

スリルを味わいながら
自分の限界を探る大人の遊び

還暦チームが挑む

モータースポーツというと、命をかける高い技術と高価なマシンをイメージしますが、比較的エントリーしやすいことで知られるダートトライアルをご存じでしょうか。格安で購入した車両でモータースポーツを楽しむ、平均年齢61歳の地元チームを訪ねました。

シーズンの行方を占う 大切なタイムトライアル

舗装されていない路面に設定されたコースを走り、周回するのにかかるタイムを競うダートトライアル。アスファルト路面での競技とは異なる独特のテクニックが必要で、参加者が楽しめるのはもちろんのこと、車をスライドさせながらコーナーを立ち上がっていく迫力ある走りは、観戦する人にも興奮の時間を与えます。

コースは日本各地に点在しますが、松阪にも本居宣長奥墓のすぐそばに全

三菱ランサー

エンジン、足回り、ブレーキと、全てがノーマル状態。室内は必要なものを除いて軽量化が図られます



「チームまつさか」は他に「ホンダ・シビック」と「トヨタ・サイノス」も所有。安全性確保とボディ剛性アップのためのロールオーバー防止機構、シートベルトなどにはネットオークションを利用して格安で購入したものを

ダートトライアルに夢中な「チームまつさか」の皆さん



中西紳一さん(64歳)
通称「しんちゃん2」
「タイムトライアルは短期集中型の競技。ガツと集中して走ります。僕らの年齢ではそういうことってあまりないですからね。そういうのも楽しいんです」

渡辺理さん(64歳)
通称「おさやん写真」
「限界を押し越えたいのが好きです。根詰めてタイムを狙うような感覚じゃないです。楽しめればいい。それが一番です」

北村慎一さん(64歳)
通称「しんちゃん」
「気合を入れ過ぎると滑って無駄が多いんです。今日はこれで終わりにしようかな、とか考えながら走ると意外とタイムが出たりします」

渡辺徹さん(56歳)
通称「ダートトライアルの鬼」
「ショップに車作りを任せると一般的ですが、僕らは自分たちで車を作ります。負け惜しみじゃないですよ。それを含めて楽しんでいます」

木村晴司さん(60歳)
通称「とどさん」
「お金がかからないのが魅力。数100万円かけても10秒ぐらいしか変わらない。僕らの究極の目標は、お金を掛けずにいかに楽しむかなんです」

のFR車/ミッドシップ車クラス、もっとも速いタイムをマークする四輪駆動車クラスと、細かくクラス分けがされているため、公平に争えることも競技の楽しさを増しています。

激しい走りが披露され、車が横転することもありますが、いままでケガ

格安パーツを探し出す楽しみ 集まって整備することも魅力

人は出ていません。最高速度がそれほど高くないことに加え、JAFの公認を受けているコースは高い安全性が確保されているのです。

モータースポーツは春から新しいシーズンの始まり。年始に行われるこのタイムトライアルが今シーズンの行方を占う大切な一戦になります。

「お年玉ダートトライアル」に参戦したチームの中で注目を集めていたのは、このコースをホームグラウンドにしている「チームまつさか」。平均年齢は61歳。別名「還暦チーム」です。7、8年ほど前から知人である「山室山ダート」のオーナー、井田勝也さんの手伝いをしていた「チームまつさか」代表の木村晴司さん。同じく、顔見知りであった北村慎一さんと「これぐらいなら走れそうだ。俺たちもレースに出てみようか」と話したことがきっかけで、2012年4月にメンバーを集めてチームを発足。現在は「山室山ダート」と福井県南条郡南越前町にある「オートパーク今庄」で交互に開催されている「ノーマルダート4時間耐久」に年4〜5回参戦しています。

ダートトライアルは個人競技ですが、耐久レースはチーム戦。「チームまつさか」は4時間でコースを何周できるかを競う「ノーマルダート4時間耐久」に特に力を入れています。

その名の通り、参戦可能なのはノーマル車両。ダートトライアルと違い、レーサー自ら整備が可能のため、出費

国から愛好家が集まる「山室山ダート」があります。完成したのは33年前。もともとはひとつの大きなコースでしたが、県道59号が開通したことにより、東・西のふたつに分かれました。1周1.3kmほどの西コースでは、国内四輪モータースポーツの統轄団体であるJAF(日本自動車連盟)が主催する本格的なダートトライアルの大会や、ノーマルダート4時間耐久レースなど、年間5戦ほどが開催されています。

本格的なダートトライアルに参加するには、講習を受けてライセンスを取得しなければいけません。1月3日



山室山ダートのオーナー
井田勝也さん
「瓦礫が混ざった路面のコースが多いのですが、雑草に土だけの路面のコースは近年珍しくなっています。JAFの公認を得ているダートコースは三重県でここしかありません。特に初級者、中級者の皆さんに「楽しいコース」と言っていたいです」



山室山ダート
松阪市山室町1299
電話0598-29-6988
http://yamamuro.info/
チームまつさか
http://todo-san.com/dirt/

チーム員募集中!
ウェブサイト又は電話にて問い合わせ/090-4233-5551(木村晴司さん)